

特許文書分析・調査・査読支援・グラフ化システム

PAT MINING

ぱっとマイニング JP&ビューア

新機能一覧

V7.19.11 対応版 2019年12月16日

－ 新機能 －

- 【おすすめ】タブを新設。
- グラフ種類に「棒(バタフライ)」を追加。
- 戦略分析【2社比較／項目別分析】、【2社比較／時系列分析】を新設。

－ 改定 －

- マイメニュー(見本)の内容変更。
- 文書一覧の抽出条件入力欄の表示／非表示が選択可に。
- 読み込み時のファイル形式選択で、以下のファイル形式への対応を終了。
「パトリスⅣ(P203,P204)CSV形式」
- 読み込み時のファイル形式選択で、以下の旧タイプのファイル形式への対応を終了。
(現行のファイル形式に統一)
「NRIサイバーパテントデスクCSV形式」⇒廃止
(現行の「NRIサイバーパテントデスク2CSV形式」「NRIサイバーパテントデスク海外CSV形式」
は、従来どおりご利用いただけます。)
- 「JDreamⅢCSV形式」⇒廃止
(現行のテキスト(タブ区切り)形式をご利用いただけます。)
- ぱっとマイニング形式(pmx)での保存機能を廃止。
(保存形式を「ぱっとCSV形式」に統一しました。)
- 英文字に対するワード分解の仕様を変更。

— 目的別にはっとマイニングJPを使いこなす —

☑ ぱっとマイニングJPのおすすめ機能を、目的別に表示しています。

おすすめメニューとは？ ※おすすめメニューは、バージョンアップの際に変更する場合がございます。 ※よく使用するメニューがございましたら、マイメニューへ別途保存下さい。

● 【調査】 高速に調査する	
☞ 近傍検索	あるワードの近傍の用語調査
☞ 簡単抽出2(キーワード&数値単位)	”数値単位”を調査する
● 【スクリーニング】 関連の高い公報を選ぶ	
☞ 含数分析(全文書)	ワード使用回数の分析
● 【分類】 母集合を目的にあうよう分類する	
☞ 重要度 かんたん一括入力	指定した条件に基づき一括で分類を付与
● 【グラフ】 グラフをテンプレートから作成する／軸を設定しているようなグラフを作成する	
☞ 出願年(出願数)	出願年別 全出願合計・出願数推移
☞ 出願人(出願数)	出願人別 出願数
☞ 出願年×出願人(出願数)	出願年別 出願数
☞ 出願年×Fターム(出願数)	出願年別 Fタームコード使用傾向
☞ 2社比較／項目別分析	指定した2社の件数対比
☞ 出願年×出願人×権利状態(出願数)	出願年×出願人×権利状態
☞ グラフブラウザ	X軸・Y軸(Z軸)を設定してグラフを作成
● 【変化の発見】 最近の変化を発見する	
☞ 時系列／直近年度成長率分析	直近変化抽出
● 【特許評価】 審査経過・権利状況等の情報を基に公報にスコアを付与	
☞ 特許評価2(他社注目度)	他社から注目されている公報にスコアを加点
☞ 特許評価2(自社注力度)	出願人が注力している公報にスコアを加点

☑ 調査から分析結果のビジュアル化まで、ぱっとマイニングを活用した作業フローと、作業ごとに利用する機能をご提示。

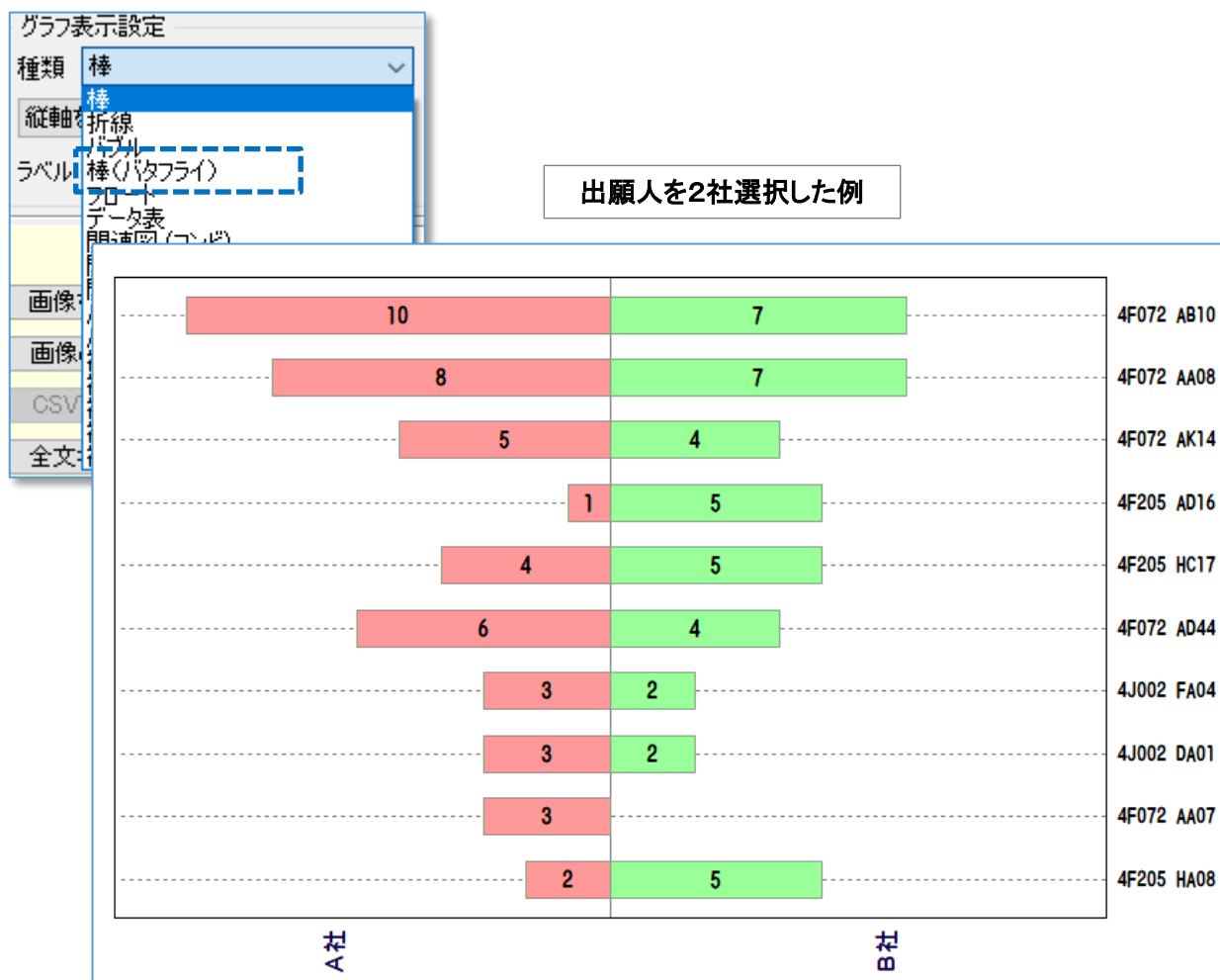
☑ 調査・分析にぱっとマイニングJPを活用している開発元からの、おすすめ機能です。実際のコンサルティングなどにも使用されているものを厳選してピックアップしました。

★ ここがポイント！ ★

気に入った機能があれば、マイメニューに記録(保存)しておきましょう。【おすすめ】の内容は、次回のバージョンアップなどの際に変更される可能性があります。

－ 背中合わせの棒グラフで比較 －

- 横向きの棒グラフを背中合わせに表示することにより、数量対比が見やすく表示できます。



- X軸に出願人等を選択するパターンが一般的ですが、工夫次第で色々な比較に利用できます。

★ ここがポイント！ ★

デフォルトの選択(上位20位まで)で作成するとグラフが煩雑になるので、「軸設定」で比較する対象を絞り込んでからグラフを作成します。

— 棒グラフで2社を明瞭に比較 —

☑ A社にあって、B社にないもの。A社とB社がそれぞれ力を入れている分野と苦手な分野、など、対比することで特徴を明確にすることができる分析手法です。

● マイメニュー ● おすすめ ● 文書一覧 ● グラフ ● 各種分析 ● **戦略分析** ● 簡単抽出 ● 特許

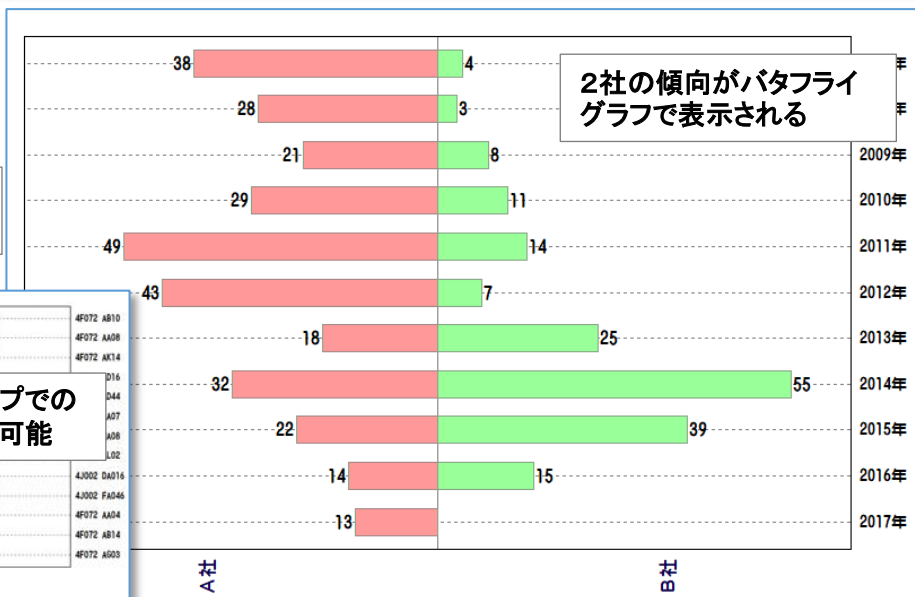
● 競合の分析

- 競合出願／時系列分析 複数の出願人／発明者の時系列での権利化状況をグラフ化
- **2社比較／項目別分析** 指定した2項目を項目別で比較グラフ化
- 2社比較／時系列分析 指定した2項目を時系列で比較グラフ化

比較したい2社と、比較する項目を選択

グループでの比較も可能

項目	グループ1	グループ2
4F072 AB10	3	7
4F072 AA08	1	7
4F072 AK14	1	4
D16	2	5
D44	1	4
A07	2	3
A06	2	5
L02	1	3
4J002 DA014	3	3
4J002 FA046	3	3
4F072 AA04	2	4
4F072 AB14	1	4
4F072 AG03	2	3



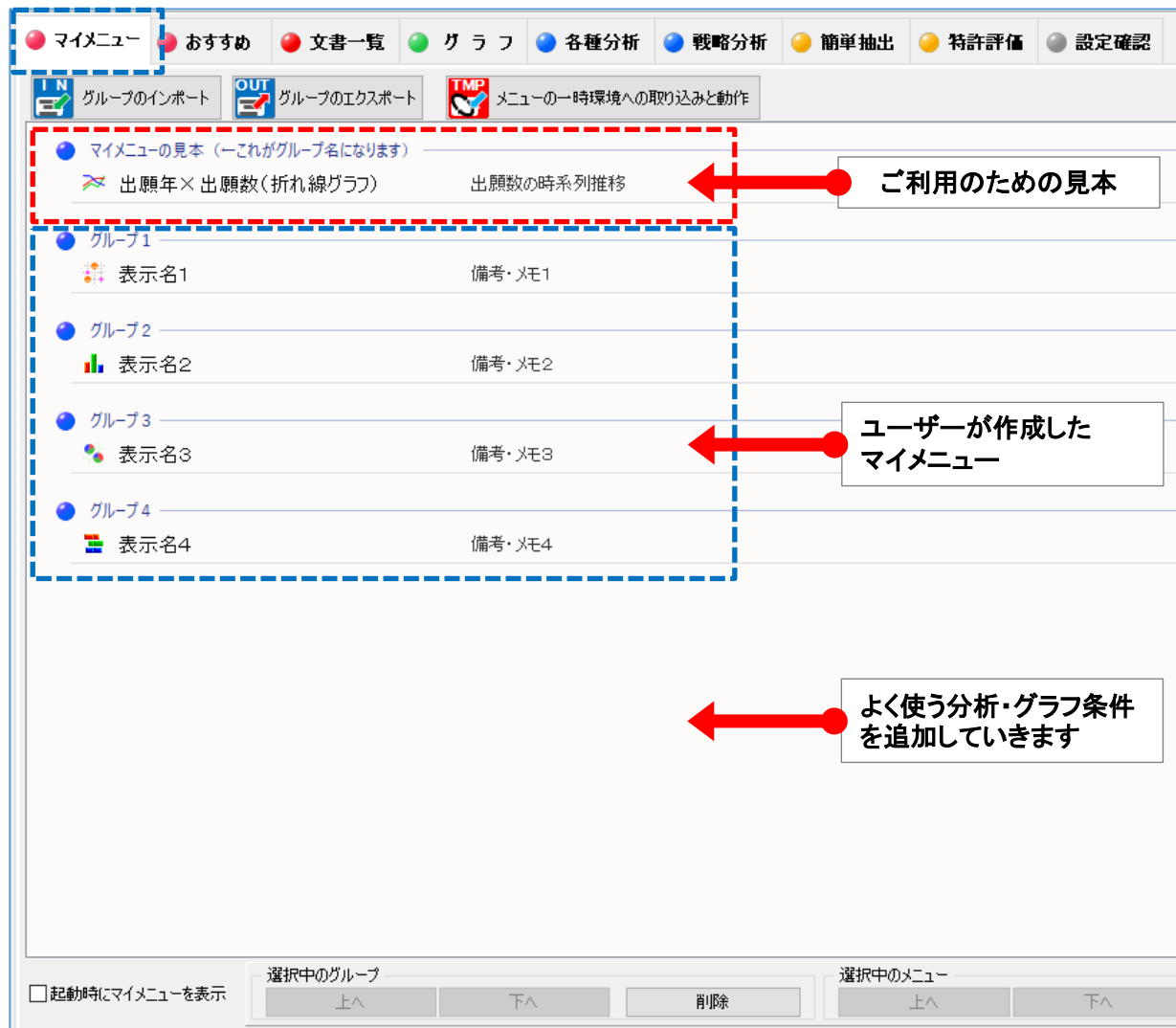
- ☑ 2社を選択して、バタフライグラフで比較表示する分析です。出願人以外にも、発明者や権利人、代理人、重要度、など、比較対象を選択することができます。
- ☑ 「2社比較／項目分析」では、FタームやFI、IPC、テーマコード、ステータス情報など様々な項目を、「2社比較／時系列分析」では、出願年、公開年、登録年、審査請求日など各年月を、選択可能です。

☆ ここがポイント！ ☆

出願人を1社ずつだけではなく、2つのグループに分けて比較することもできます。グループでの比較の場合、共同出願の公報は重複してカウントされます。

— 見本以外のスペースはあなたのオリジナル機能の保存用です —

- ☑ 分析やグラフ作成の条件などを【マイメニュー】に登録しておく、同じ条件での分析やグラフの復元ができます。今回のバージョンアップでご利用いただきやすいように見本を簡素化しました。



- ☑ マイメニューは、グラフウィンドウや分析ウィンドウにある「マイメニューに登録」ボタンをクリックした後、「グループ」と「表示名」「備考・メモ」を入力して登録します。
- ☑ 従来の見本をご利用になりたい方は、バージョンアップの前に、マイメニューに登録してください。従来の見本の一部は【おすすめ】タブに移設しています。

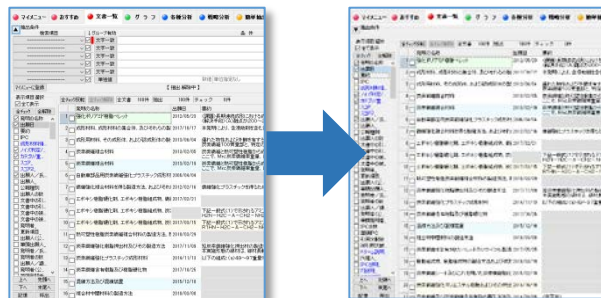
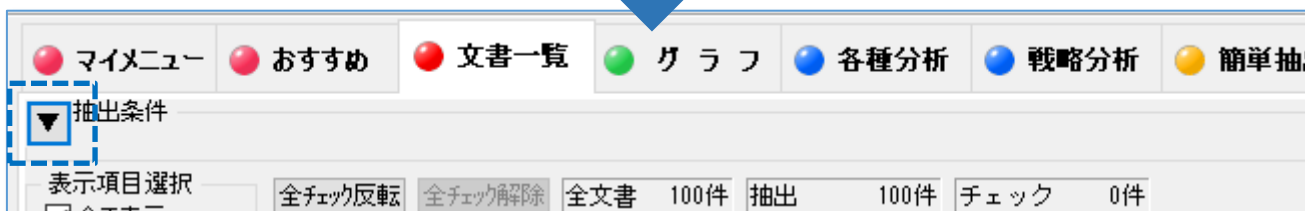
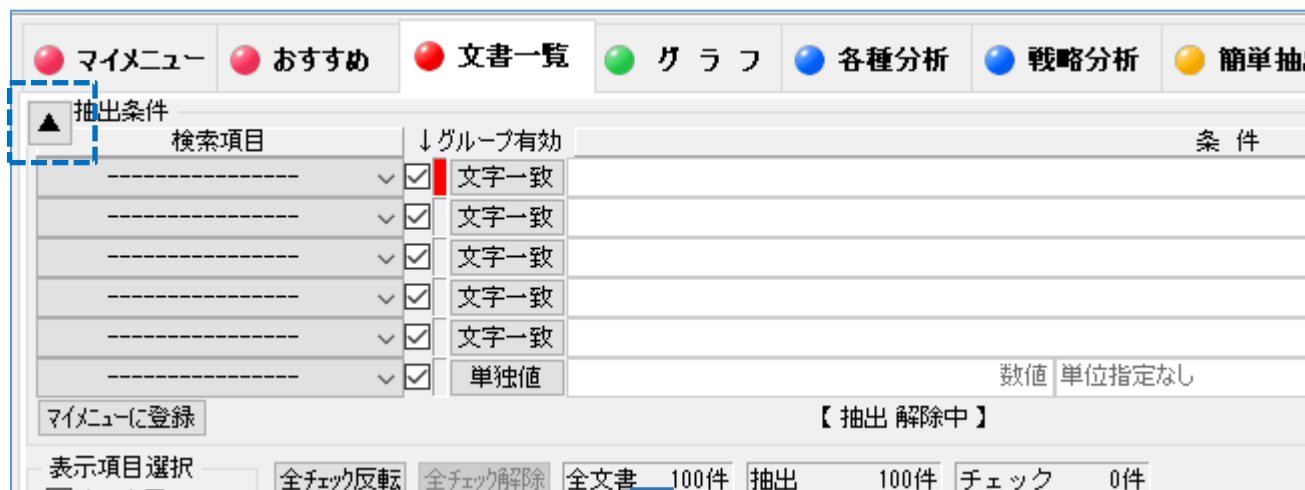
★ ここがポイント！ ★

作業の履歴としても利用できるため、こまめにマイメニューを登録しておくよう心がけると良いでしょう。

バージョンアップのインストール時に、従来の見本は削除されますが、ユーザが独自に登録したマイメニューは削除されません。

— 文書一覧の利便性を向上 —

☑ ▲マークをクリックして、抽出条件の入力欄を表示したり隠したりすることができますようになりました。



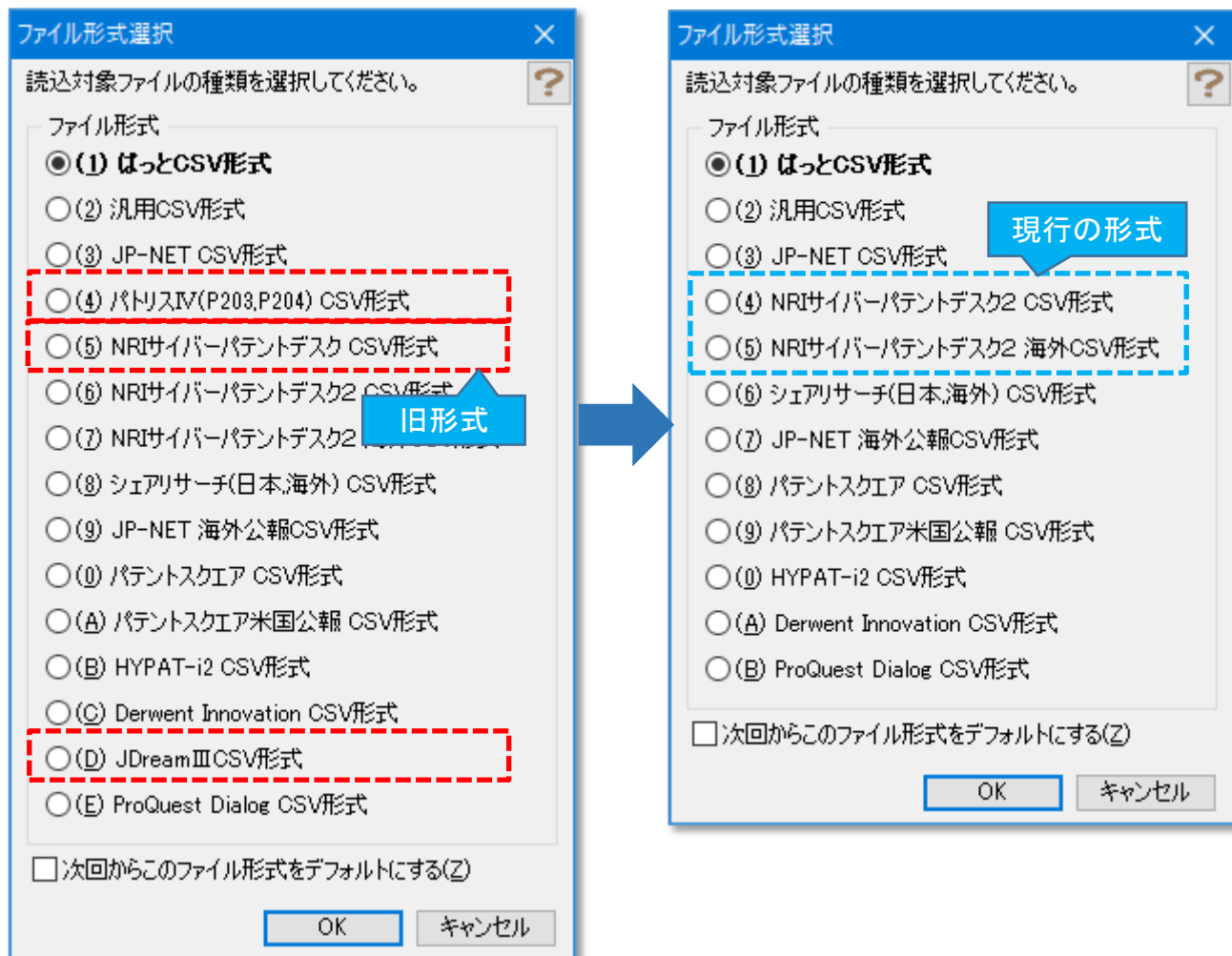
☑ 抽出条件の入力欄を非表示にすると、文書の一覧表示のスペースが広がるため、並べ替え(ソート)による表示整理や確認等の作業効率が高くなります。

★ ここがポイント! ★

条件を入力して抽出後、入力欄を非表示にして、文書一覧をソート、上位から文書ブラウザで査読・・・
 というような作業フローが考えられます。

— ファイル形式を整理しました —

- ☑ 読み込み時のファイル形式選択で、旧形式の「パトリスIV(P203,P204)CSV形式」「NRIサイバーパテントデスクCSV形式」「JDreamⅢCSV形式」への対応を終了しました(現行のファイル形式に統一)。
NRIサイバーパテントデスクとJDreamⅢの現行のファイル形式はこれまでどおりご利用いただけます。
- ☑ また、ぱっとマイニング形式での保存機能を廃止しました(ぱっとCSV形式に保存形式を統一)。



- ☑ 「パトリスIV(P203,P204)CSV形式」「NRIサイバーパテントデスクCSV形式」「JDreamⅢCSV形式」は、いずれもデータベースからのダウンロード機能(またはデータベース機能自体)が終了して時間が経過したため、対応を終了させていただきました。
- ☑ 現行の「NRIサイバーパテントデスク2CSV形式」「NRIサイバーパテントデスク海外CSV形式」「JDreamⅢテキスト(タブ区切り)形式」は、従来どおりご利用いただけます。
- ☑ ぱっとマイニング形式での保存(pmx形式)を終了しましたので、今後は「ぱっとCSV形式」で保存をお願いします。(pmx形式のデータの読み込みは可能です)

★ ここがポイント! ★

NRIサイバーパテントデスクは「NRIサイバーパテントデスク2CSV形式」「NRIサイバーパテントデスク海外CSV形式」が、JDreamⅢはテキスト(タブ区切り)形式が、各データベースからダウンロードできる形式となっており、いずれもぱっとマイニングで読み込みが可能です。

— 英文字ワード分解の正確性を向上 —

- ☑ アルファベットの文字列を、アルファベット以外の文字・数字・記号(スペース含む)が出てきた際に区切るように仕様変更しました。

「connect」という単語が辞書にワード登録されており、「connecting」「connected」「connection」は登録されていない場合、下記のような違いが出てきます。

英文字ワード	旧仕様	新仕様
connecting	connect と ing	connecting
connected	connect と ed	connected
connection	connect と tion	connection
キーワードランキング (出現数) の集計結果は・・・	connectが3回 ing 1回 ed 1回 tion 1回	connecting 1回 connected 1回 connection 1回

- ☑ これまでの仕様では、辞書設定に基づいた分解を優先したため、場合によっては単語の抽出が正しくできていないことがありました。
新仕様ではアルファベットの文字列を、アルファベット以外の文字・数字・記号(スペース含む)が出てきた際に区切ることで、正しく各単語を抽出した上で辞書を適用します。

★ ここがポイント! ★

上記の例において「connecting」「connected」「connection」をすべて「connect」として集計したい場合は、グループワード設定(グループ辞書に登録)をご活用ください。

(Ver7.19.5以降は、上記の新仕様に変更しています。)